

ゴミ置場「ごみーれ」組立施工マニュアル

- この度は、新日軽商品をご採用いただき誠にありがとうございます。
商品を正しく安全に組立・施工していただくために、この組立施工マニュアルをよくお読みの上、作業を行ってください。
- 本マニュアルに示した注意事項は、商品の性能・機能および強度や安全性を確保する上での重要な内容です。
施工にあたっては必ずお守りください。
- 施工は専門業者が行ってください。専門知識のない方が施工されますと不具合発生の原因となることがあります。
- このマニュアルは施工後必ず施主様にお渡しください。

施工時の注意事項

施工にあたっては次の点をご確認ください。

- モルタル用に海砂を使用されますと、多量に塩分が含まれているため、腐食の原因になりますのでご使用を避けていただくか、十分水洗いしたものをご使用ください。また、モルタルやコンクリートの急結剤は腐食の発生や促進作用がありますのでその使用を避けていただくか、塩化カルシウムや塩素系の化合物・珪酸ナトリウム等の入っていないものをご使用ください。
- アルミ商品と銅板やラス等の異種金属が接触しないようにしてください。接触する場合には、ビニールテープ等を貼るか塗料等で絶縁処理をしてください。
- 腐食の恐れのある接着剤や化学製品を使用する場合には、商品と接触しないようにするか接触部分を完全に養生してください。
- 埋め込み柱内部にモルタルやコンクリートや水などが入らないようにしてください。柱内部の異常腐食や凍結破損の原因になります。
- モルタルやコンクリートの抽出液は強アルカリ性で、しみやむら等の外観不良や腐食の原因になりますので、工事中に商品に付着しないようにご注意ください。
- 施工時に商品の表面に付着したモルタルやコンクリート等は速やかに清掃してください。また、アルミ表面にキズをつけますと腐食しやすくなりますので、取扱いには十分注意してください。
- 輸入木材には塩素イオン等の腐食成分が多く含まれている場合がありますので、その使用を避けていただくか、アルミと接触する部分には木材に塗装するようにしてください。
- 基礎施工は、地下埋設物（給水配管等）に影響を及ぼさないように柱位置を決めてください。
- 養生期間は十分（4日～1週間）にとり、養生期間中は重い物をのせたり、振動させたりしないように指示してください。
- 改造・変更をしないでください。

このマニュアルに示した注意事項は、安全に関する重要な内容を示しています。人身事故や財産への損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。

| 絵表示 | 意味 | 絵表示 | ご使用上の注意とお願い |
|---|---|---|-----------------------|
|  | この表示を無視して誤った取り扱いをすると使用者等が負傷する危険や物的損害の発生が予想されることを表しています。 |  | 「必ず行っていただくこと」を示しています。 |



開き戸タイプの場合は、開き戸の組立施工マニュアル [ME-1516] も合わせて参照してください。



- この商品は一般地域用です。（積雪強度 900N/㎡）
積雪の多い地域には取付けしないでください。
- 大屋根からの雪が直接落ちない場所に設置してください。
落雪により商品が破損するおそれがあります。
- ブロック壁の基礎および配筋設計はコンクリートブロック
塀設計基準に基づいて行ってください。
- 屋根の上に乗らないでください。また、扉の開閉は人や障害物が当たらないことを確認の上、行ってください。
- ゴミ置場の中でゴミを燃やさないでください。

もくじ

| | | | |
|-------------------------|----|-----------------------|----|
| 梱包明細..... | 2 | 5. 上吊引戸の取付け..... | 14 |
| 納まり図..... | 3 | 5-1 上吊用柱の埋め込み..... | 15 |
| 1. 壁の施工..... | 5 | 5-2 ガイドローラーの取付け..... | 15 |
| 1-1 コンクリートブロック壁の設置..... | 5 | 5-3 上吊用桁の取付け..... | 16 |
| 1-2 アンカーボルトの埋め込み..... | 5 | 5-4 扉の取付け..... | 17 |
| 2. 屋根部の組立..... | 6 | 5-5 吊戸車の調整..... | 19 |
| 2-1 下地材の取付け..... | 6 | 5-6 ガイドローラーの調整..... | 19 |
| 2-2 屋根桁の取付け..... | 7 | 5-7 ストライクの調整..... | 19 |
| 3. メッシュパネルの取付け..... | 8 | 6. 開き戸の取付け..... | 20 |
| 3-1 メッシュパネルの取付け..... | 8 | 施工工事店様、販売店様へのお願い..... | 20 |
| 4. 折板屋根の取付け..... | 9 | | |
| 4-1 束柱・母屋の取付け..... | 9 | | |
| 4-2 雨樋の取付け..... | 10 | | |
| 4-3 折板屋根・破風の取付け..... | 11 | | |

梱包明細

- 施工前に部材数量の確認および部品数量の確認をしてください。
また品質に支障のある損傷が無いか確認してください。
- マニュアルに記載している部材・部品（ビス含）以外は使用しないでください。

梱包明細

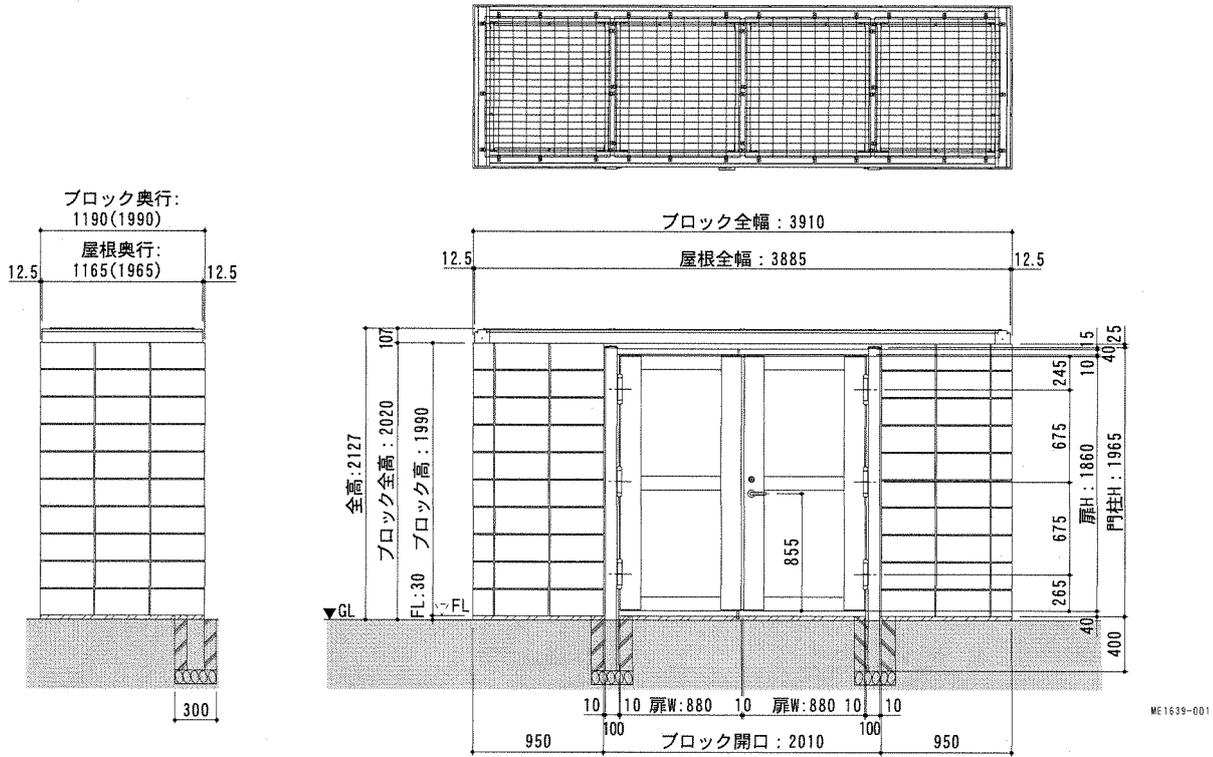
表内の()は個数を表わしています。

| 梱包名称 | サイズ | 梱包内容 | |
|-----------------|----------|---|--|
| ごみーれ 屋根セット | 折板屋根 | D:12 | 折板屋根(2) |
| | | D:20 | 折板屋根(3) |
| | メッシュパネル | D:12 | メッシュパネル(4) |
| | | D:20 | |
| | 間口材セット | | 下地材(3)・屋根桁(2) |
| | 奥行材セット | D:12 | 下地材(2)・屋根桁(2)・中間桁(3) |
| | | D:20 | |
| | 前後用破風 | | 破風L(1)・破風R(1) |
| | 破風 | D:12 | 破風(1) |
| | | D:20 | |
| | 母屋・横樋セット | D:12 | 母屋(5)・横樋(1) |
| | | D:20 | |
| | 折板部品箱 | D:12 | アンカーボルト(13)・アングル(16)・屋根桁キャップ(4) 横樋キャップ(2)・束柱[L:50/L:70/L:90.5/L:110.5/L:131](各2) 雨樋部品セット(1)・M8ナット(13)・M8用平座金(13)・M8用バネ座金(13) φ4×12トラスタッピン3種(152)・φ4×12皿タッピン3種(13) φ4×13セルフドリリングビス(61)・ゴムワッシャー付セルフドリリングビス(25) フィッシャープラグ(3)・M4.1×38木ネジ(3) 組立施工マニュアル[ME-1639](1)・コーキング(1) |
| | | D:20 | アンカーボルト(15)・アングル(16)・屋根桁キャップ(4) 横樋キャップ(2)・束柱[L:50/L:70/L:90.5/L:110.5/L:131](各3) 雨樋部品セット(1)・M8ナット(15)・M8用平座金(15)・M8用バネ座金(15) φ4×12トラスタッピン3種(192)・φ4×12皿タッピン3種(13) φ4×13セルフドリリングビス(70)・ゴムワッシャー付セルフドリリングビス(35) フィッシャープラグ(3)・M4.1×38木ネジ(3) 組立施工マニュアル[ME-1639](1)・コーキング(1) |
| メッシュ部品箱 | D:12 | アンカーボルト(13)・アングル(16)・屋根桁キャップ(4) メッシュ押え金具(48)・M8ナット(13)・M8用平座金(13)・M8用バネ座金(13) φ4×12トラスタッピン3種(66)・φ4×12皿タッピン3種(13) φ4×13セルフドリリングビス(24)・φ4×12トラスタッピン3種(50) 音鳴防止ビード[間口用(2)/奥行用(8)]・組立施工マニュアル[ME-1639](1) | |
| | D:20 | アンカーボルト(13)・アングル(16)・屋根桁キャップ(4) メッシュ押え金具(64)・M8ナット(15)・M8用平座金(15)・M8用バネ座金(15) φ4×12トラスタッピン3種(66)・φ4×12皿タッピン3種(13) φ4×13セルフドリリングビス(28)・φ4×12トラスタッピン3種(66) 音鳴防止ビード[間口用(2)/奥行用(8)]・組立施工マニュアル[ME-1639](1) | |
| 縦樋 | | 丸縦樋(1) | |
| ごみーれ 上吊引戸セット | 錠セット | 錠セット(1)・組立施工マニュアル[ME-1662](1) | |
| | 上吊用柱 | 柱(2)・戸当り(1) | |
| | 上吊用桁セット | 桁(1)・ハンガーレール(3) | |
| | 上吊用掛側扉 | 掛側扉(1) | |
| | 上吊用受側扉 | 受側扉(1) | |
| | 上吊用部品箱 | 落し受け(1)・桁取付金具(2)・桁端部キャップ(2)・φ4×16セルフドリリングビス(4) ガイドローラー(2)・グリップアンカー(8)・M10×25セムスボルト(8) ハンガーレールストッパー(2)・M12×30六角ボルト(2)・M12用大型角座金(2) M12用バネ座金(2)・戸当りストッパー(2)・φ4×20トラスタッピン3種(2) M10×20セムスボルト(16)・φ5×20トラスタッピン3種(14) | |

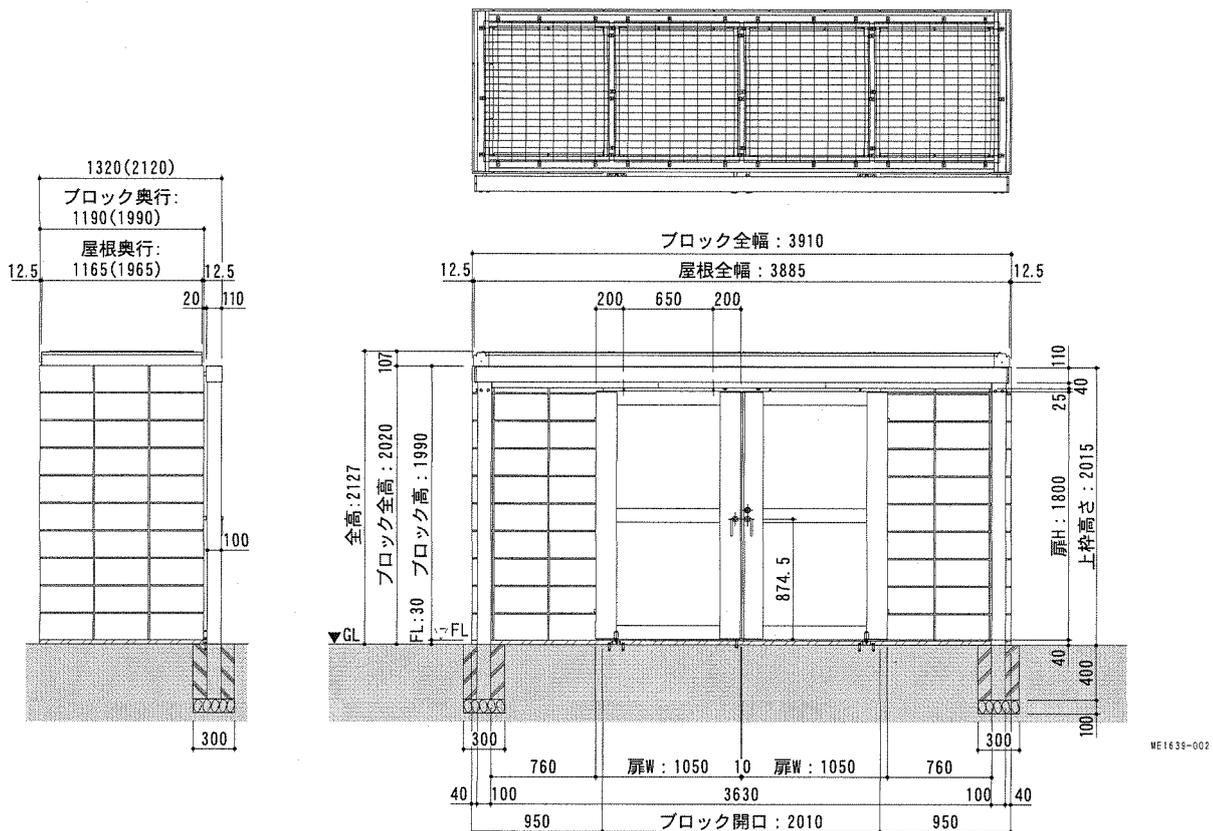
納まり図

- 下記納まり図は、奥行 (D):12 タイプの外観図です。
- () 内寸法は、D:20 タイプの場合を示しています。

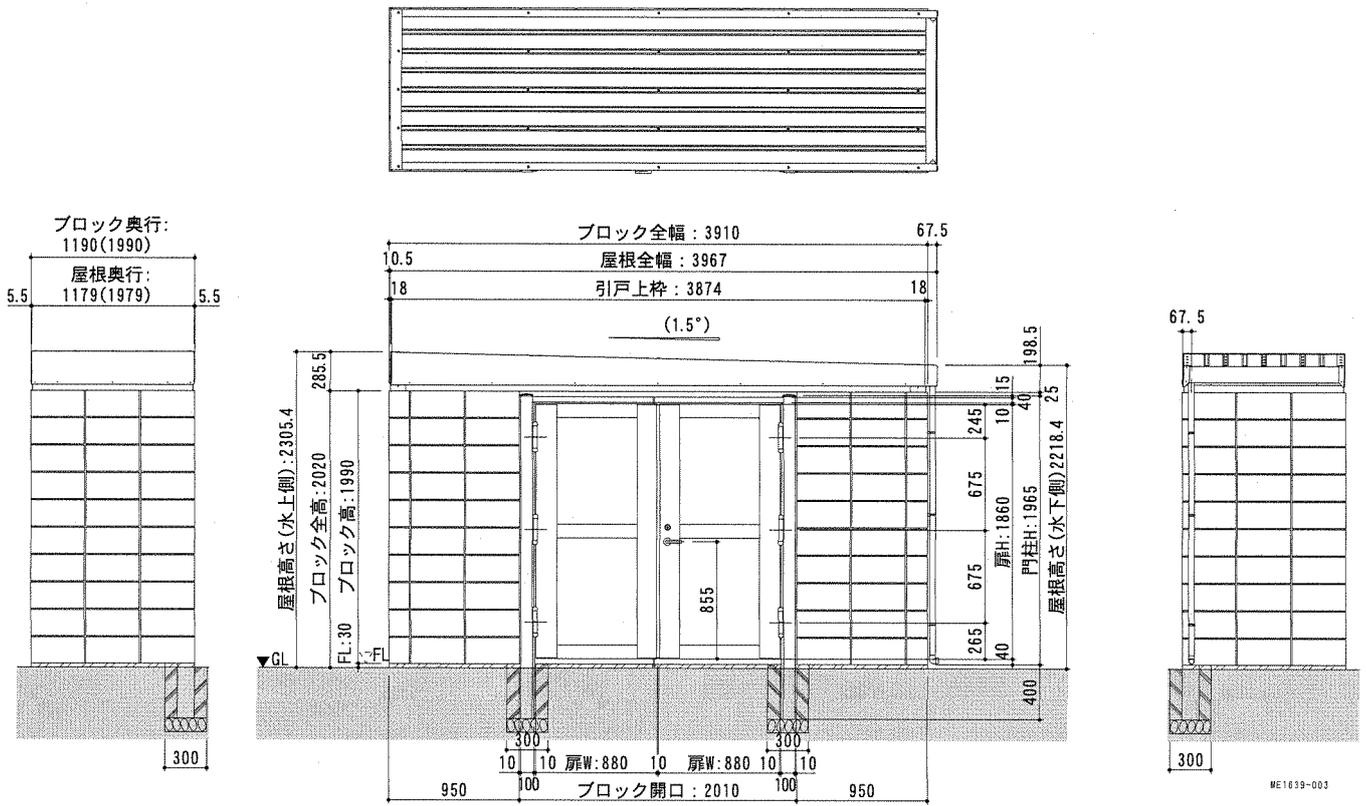
メッシュパネル・開き戸タイプ



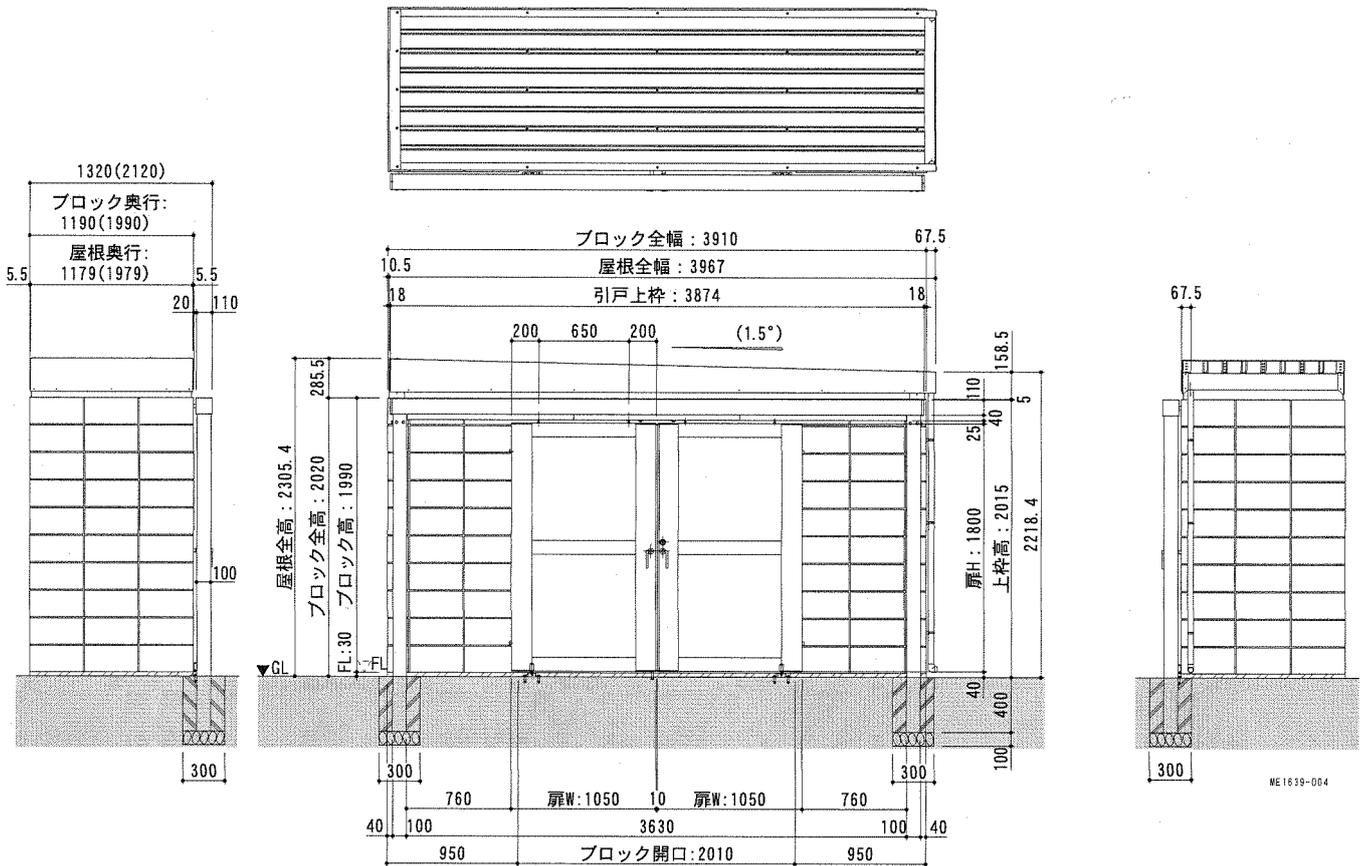
メッシュパネル・上吊引戸タイプ



折板屋根・開き戸タイプ



折板屋根・上吊引戸タイプ



1

壁の施工

- 図は奥行 (D): 20 タイプの場合を示しています。
- () 内寸法は、D: 12 タイプの場合を示しています。

1-1 コンクリートブロック壁の設置

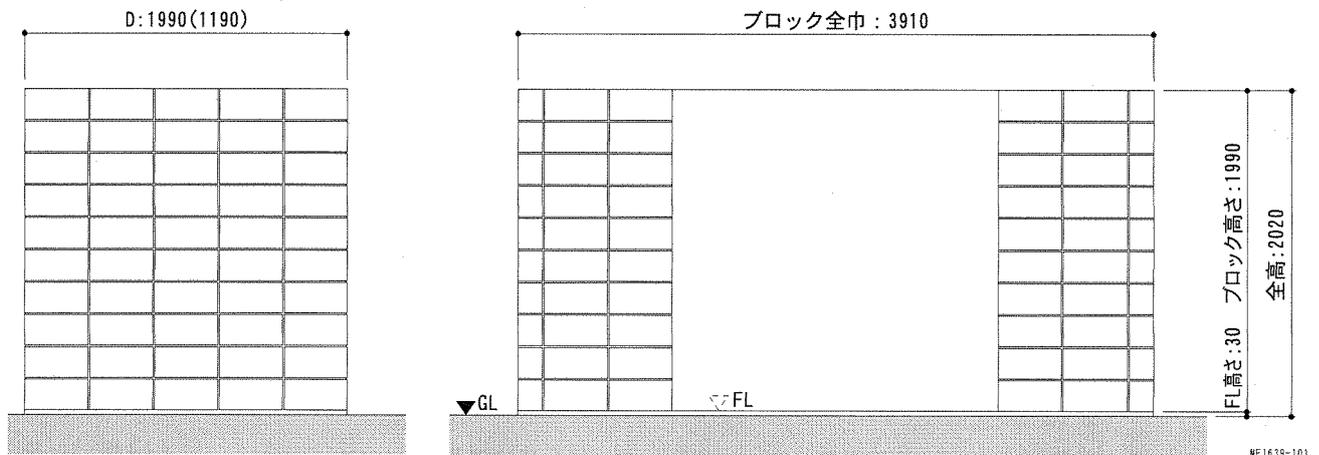
図を参照して、コンクリートブロック壁の設計・施工を行ってください。

注意

基礎および配筋設計は、コンクリートブロック塀設計基準に基づいて施工してください。



柱埋込み位置は、扉のタイプによって異なります。3、4ページの納まり図を参照し、柱の埋込みを考慮してブロックを設置してください。



※コンクリートブロック寸法は、W: 390 × D: 190 × H: 150mmです。

1-2 アンカーボルトの埋め込み

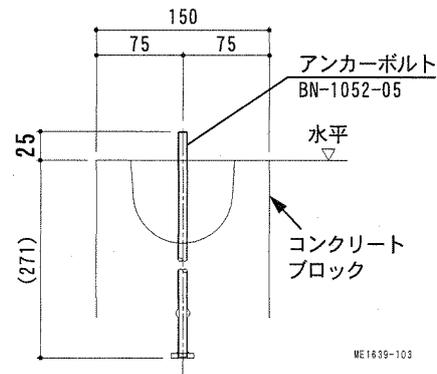
アンカーボルトを、ボルト部が25mm突出するようにブロック上部に埋め込んでください。



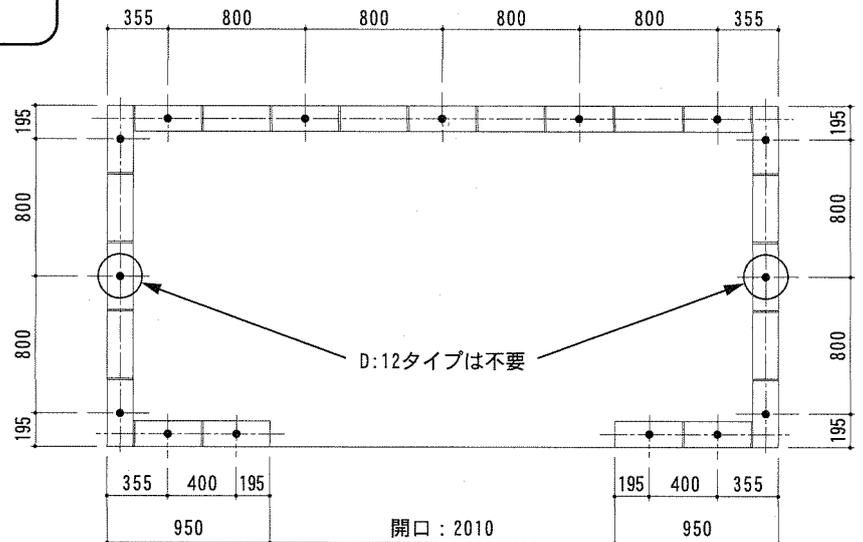
アンカーボルトは、必ずブロック上面から25mm突出させてください。

※ボルトの出が長すぎたり短すぎたりすると、屋根の下地材が取付けられない場合があります。

● アンカーボルト埋め込み詳細



■ アンカーボルト配置平面図



● 部アンカーボルト埋め込み

注意

ブロック上面は水平に仕上げてください。

2

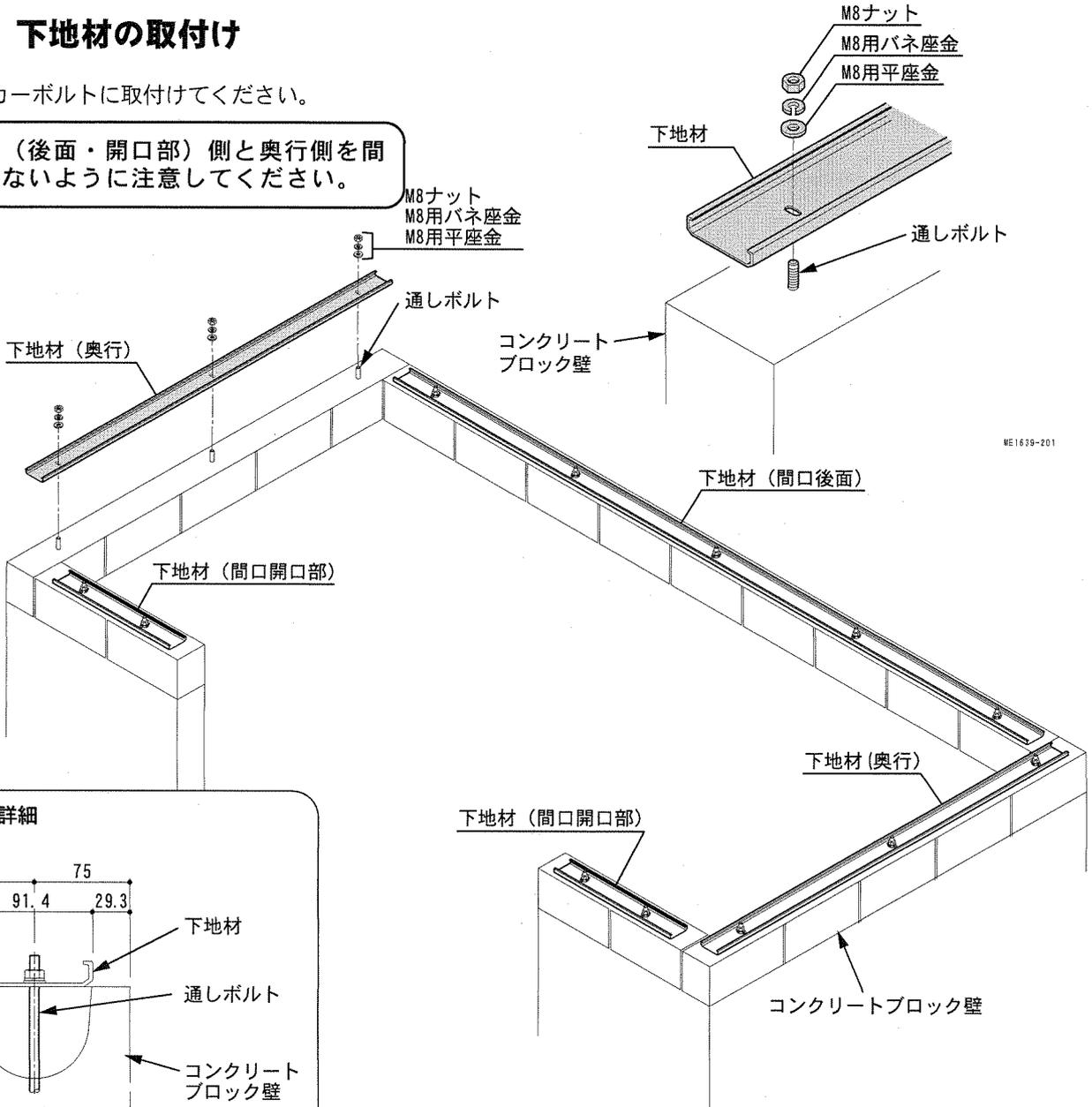
屋根部の組立

- 図は奥行 (D):20 タイプの場合を示しています。
- () 内寸法は、D:12 タイプの場合を示しています。

2-1 下地材の取付け

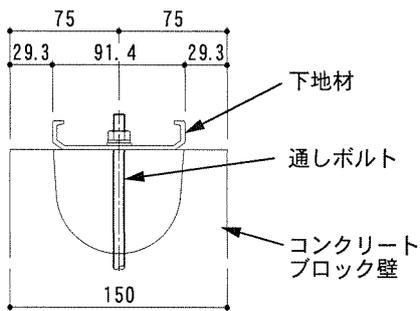
下地材をアンカーボルトに取付けてください。

! 間口 (後面・開口部) 側と奥行側を間違えないように注意してください。



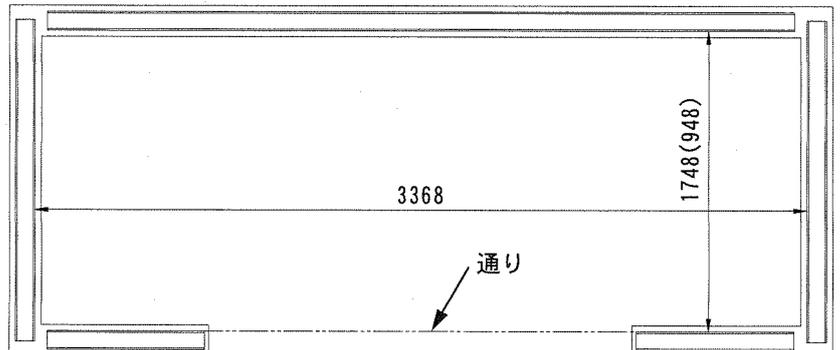
ME1639-201

●取付部詳細



! 下地材間の寸法および開口部の下地材の通りを確認してください。

●下地材取付寸法



ME1639-209

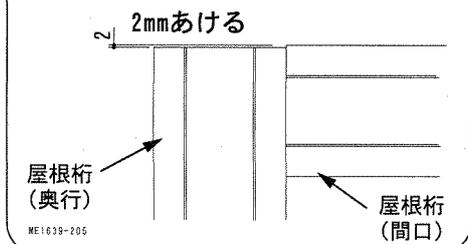
2-2 屋根桁の取付け

①屋根桁(間口・奥行)を下地材に引っ掛け、アングルで4隅を固定してください。

! 屋根桁隅部は、奥行側と間口側に2mmの差をつけて固定してください。

※同面にすると、屋根桁キャップが突出します。

●隅部詳細

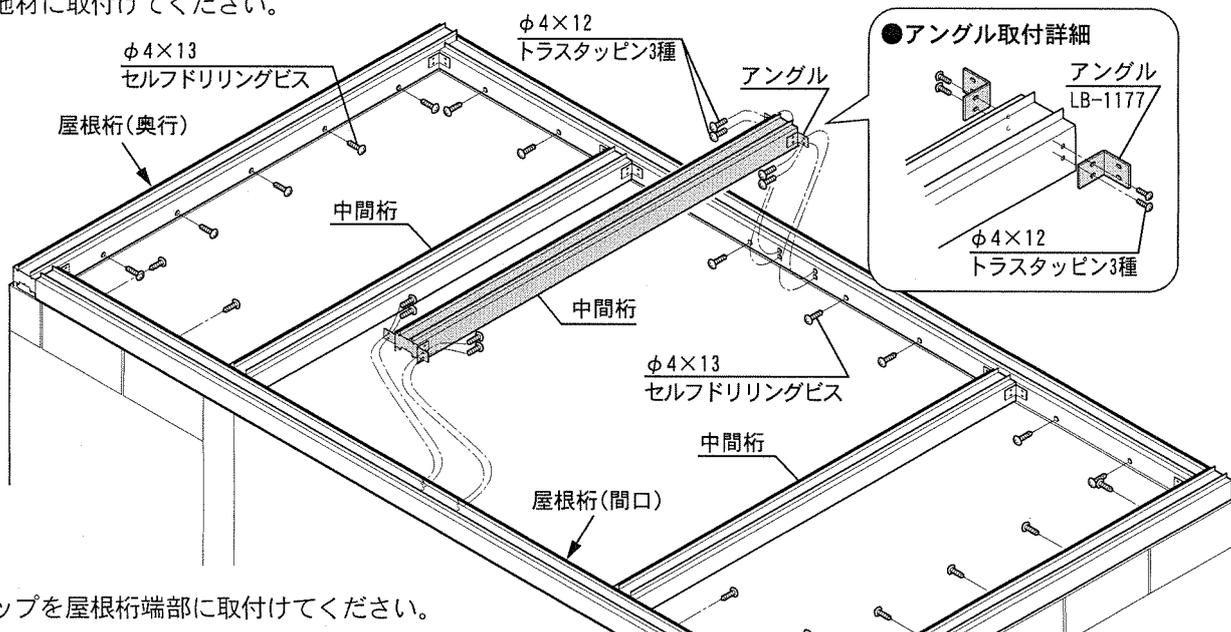


②アングルを中間桁に取付けてください。

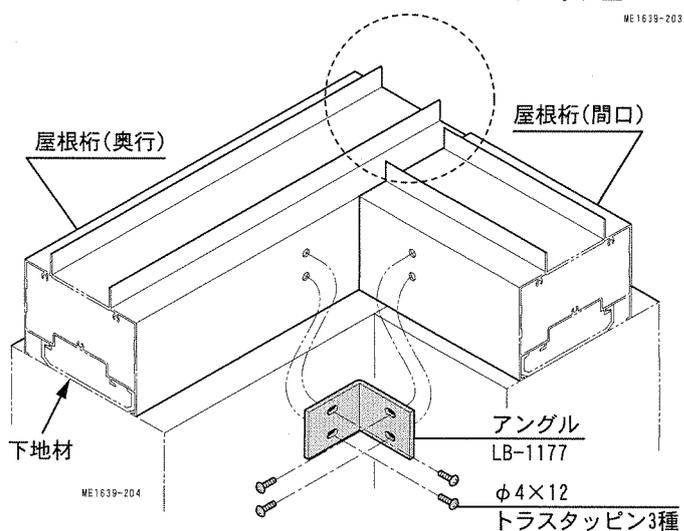
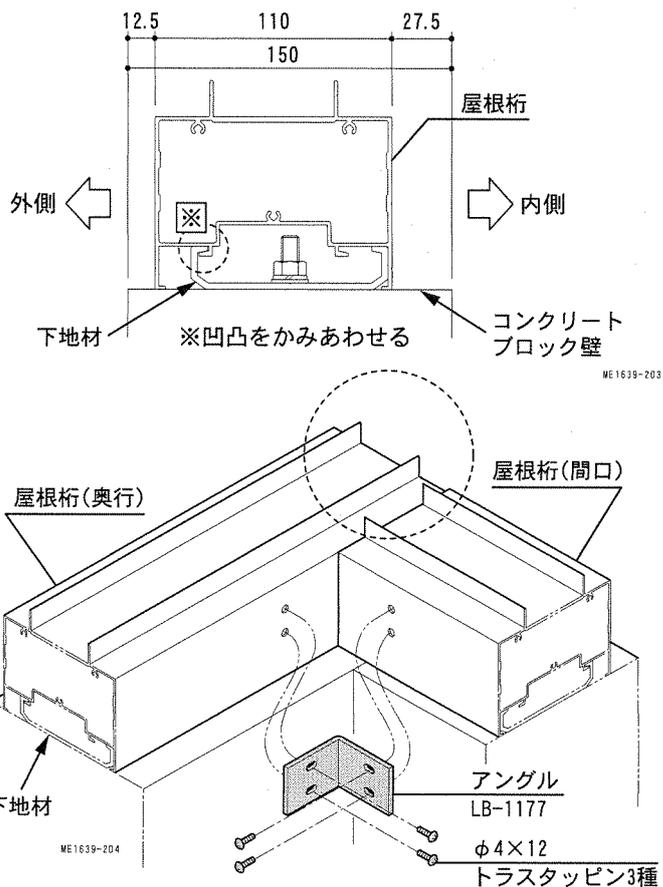
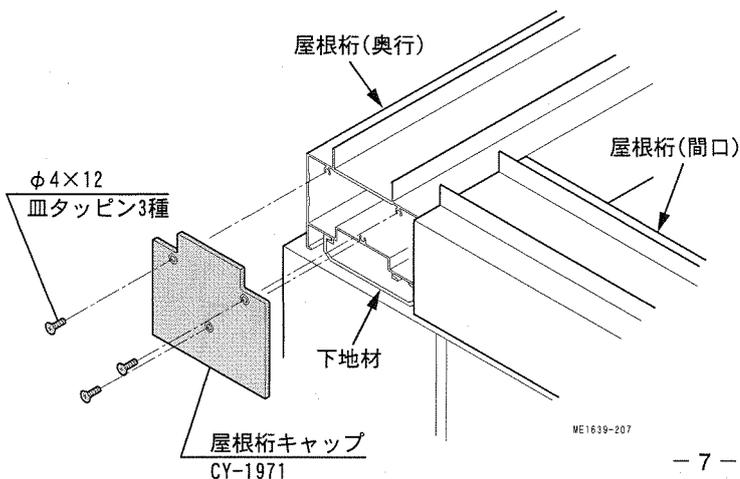
③中間桁を屋根桁に取付けてください。

! 中間桁は、屋根桁の位置・対角を確認してから取付けてください。

④屋根桁を下地材に取付けてください。



⑤屋根桁キャップを屋根桁端部に取付けてください。



3

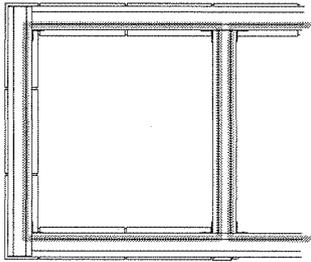
メッシュパネルの取付け

●折板屋根タイプの場合は、本ページはとばして「4. 折板屋根の取付け」へ進んでください。

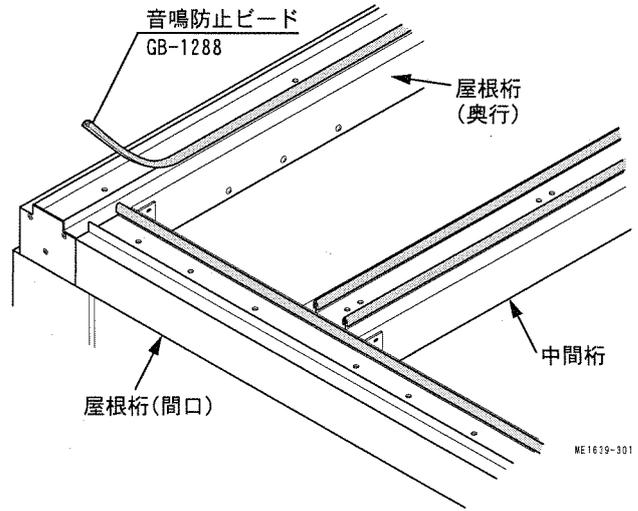
3-1 メッシュパネルの取付け

①音鳴防止ビードを屋根桁・中間桁のフィン部に取付けてください。

音鳴防止ビードは、メッシュパネルが触れる部分にのみ取付けます。

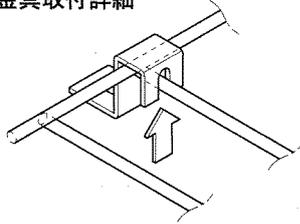


※屋根桁のフィンは内側にだけ取付ける



②メッシュパネルをメッシュ押え金具で屋根桁・中間桁に取付けてください。

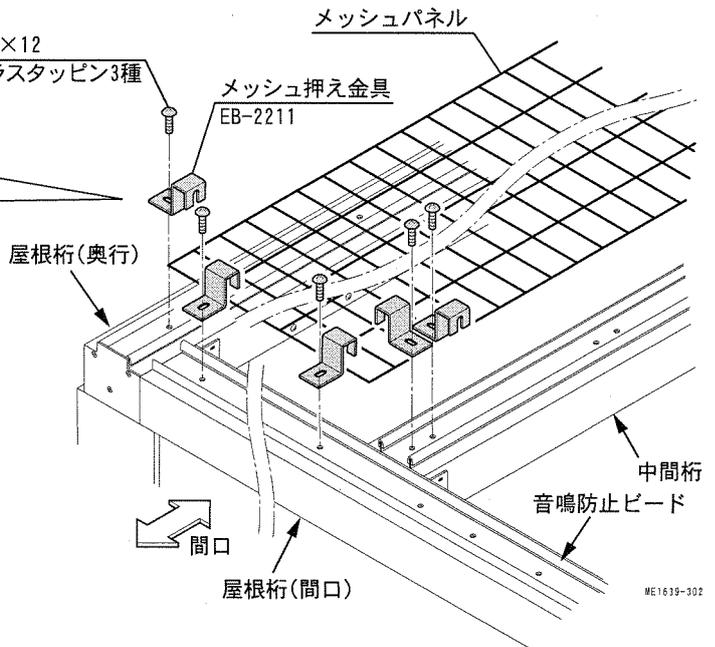
●金具取付詳細



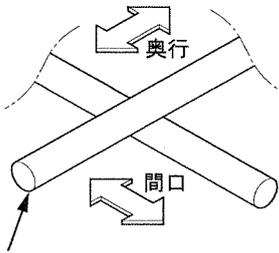
メッシュパネルの線材を
押え金具の溝にはめ込む

φ4×12
トラスタッピン3種

メッシュ押え金具
EB-2211



メッシュパネルの向き・裏表に注意してください。



奥行方向のメッシュ線材が上になる

4

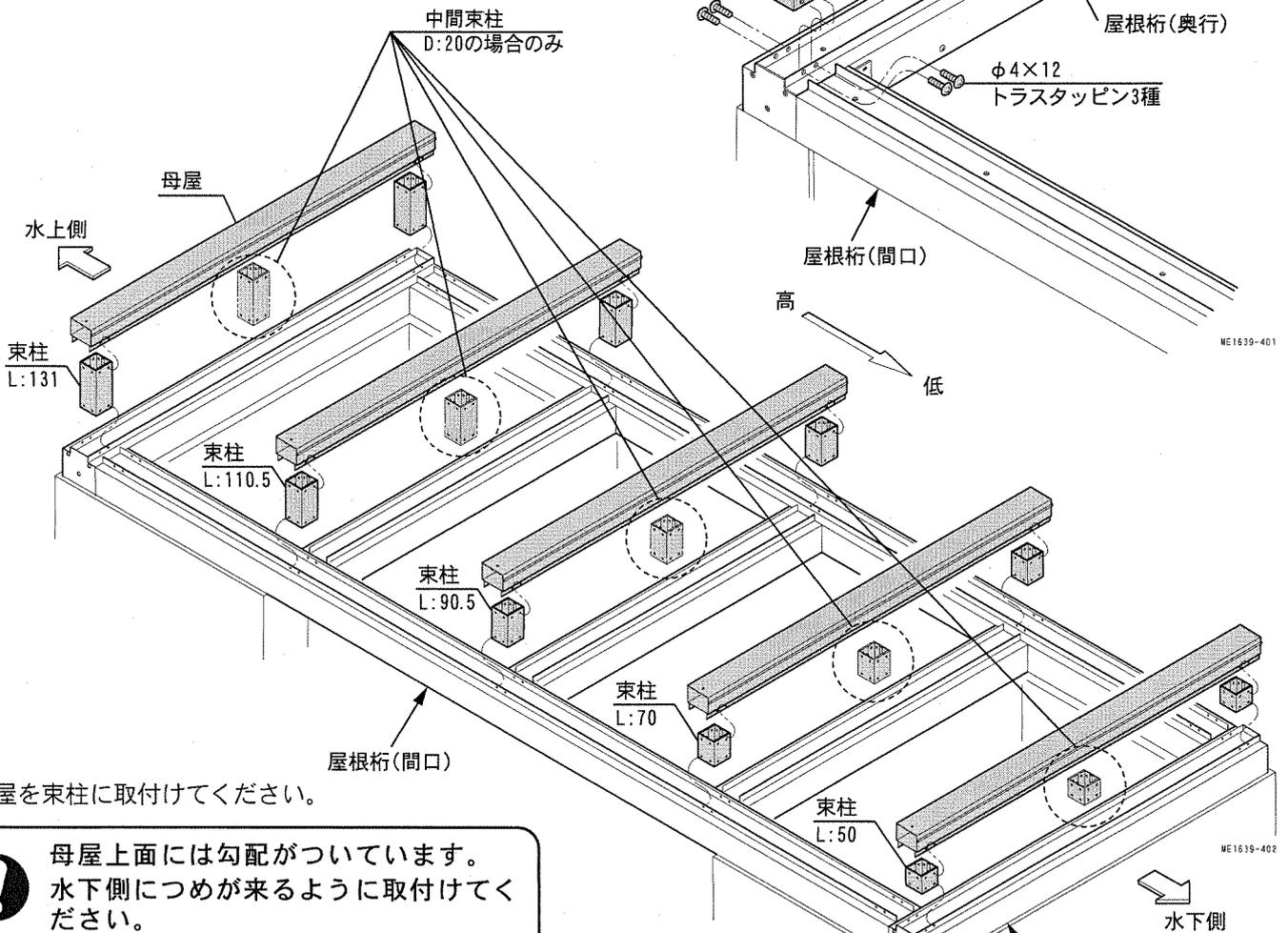
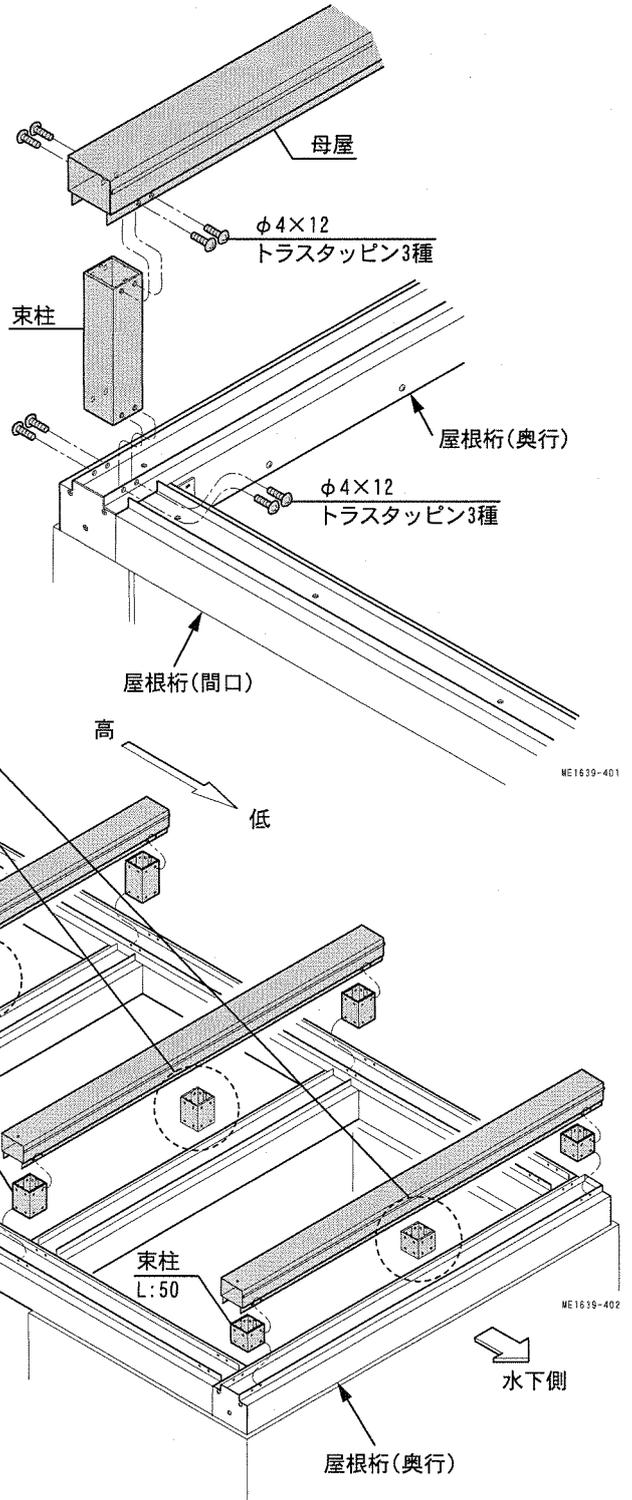
折板屋根の取付け

4-1 束柱・母屋の取付け

①水上側・水下側を決め、水上側から水下側に向かって低くなるように、束柱を高さ順に取付けてください。



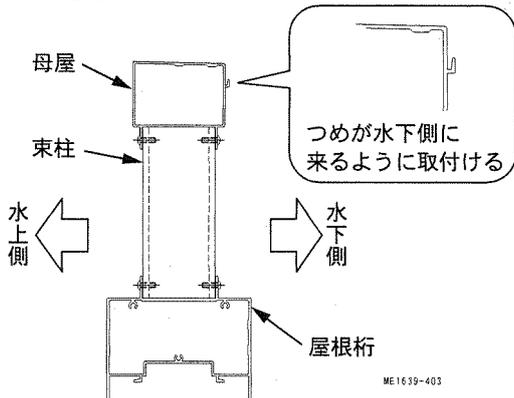
- 束柱の断面方向はありません。
- D:20の場合、中間桁中間部にも束柱を取付けてください。



②母屋を束柱に取付けてください。



母屋上面には勾配がついています。水下側につめが来るように取付けてください。



折板屋根の取付け

4-2 雨樋の取付け

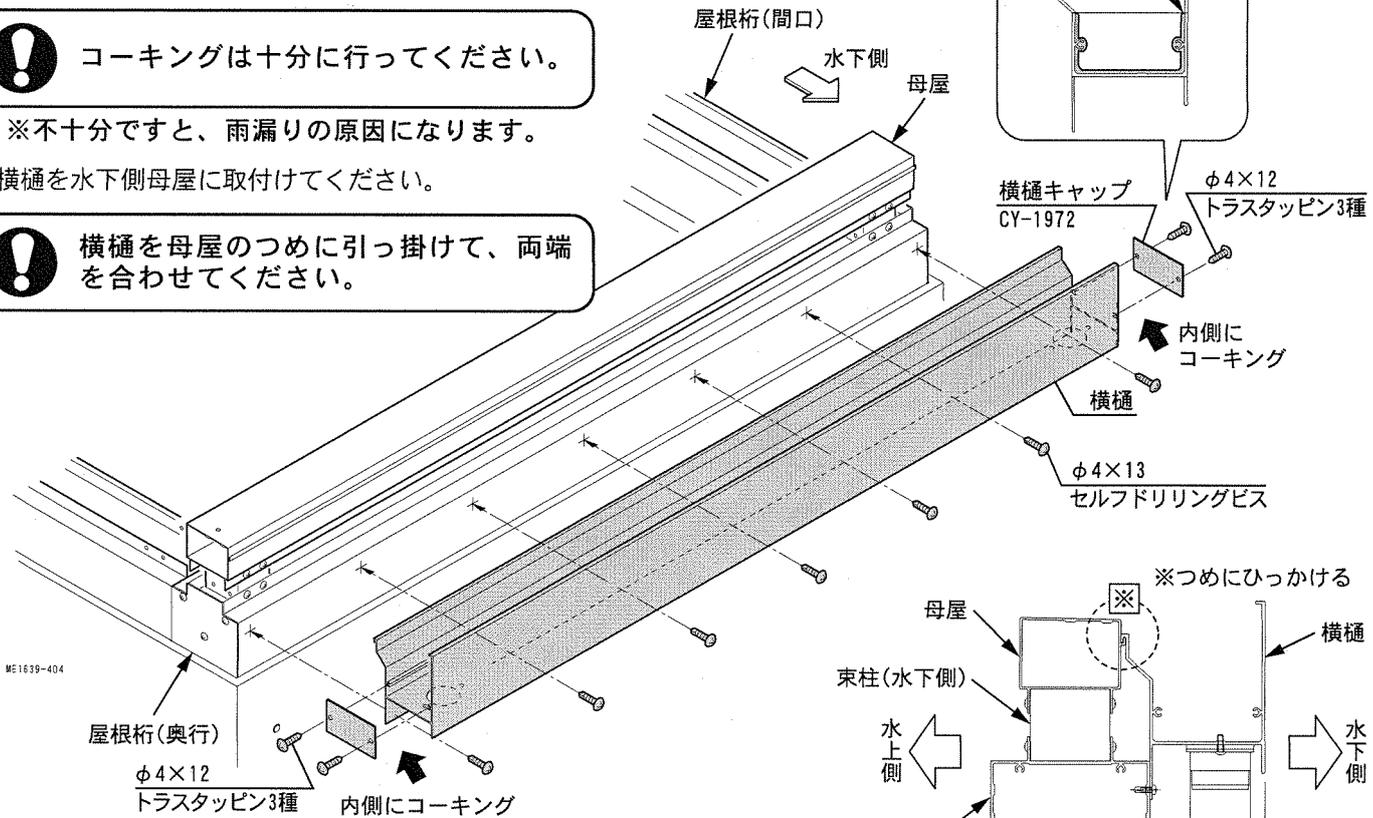
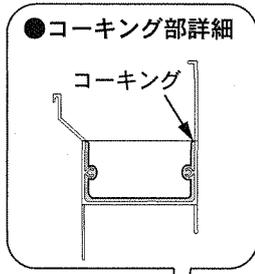
①横樋キャップを横樋に取付け、コーキングを行ってください。

! コーキングは十分に行ってください。

※不十分ですと、雨漏りの原因になります。

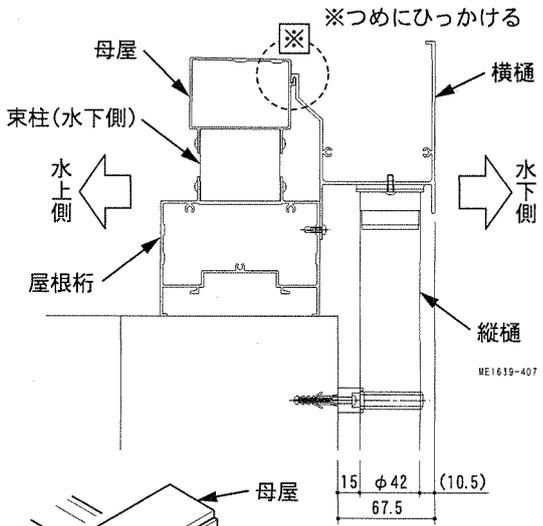
②横樋を水下側母屋に取付けてください。

! 横樋を母屋のつめに引っ掛けて、両端を合わせてください。



③落し口・縦樋を横樋の排水側水抜き孔に取付けてください。

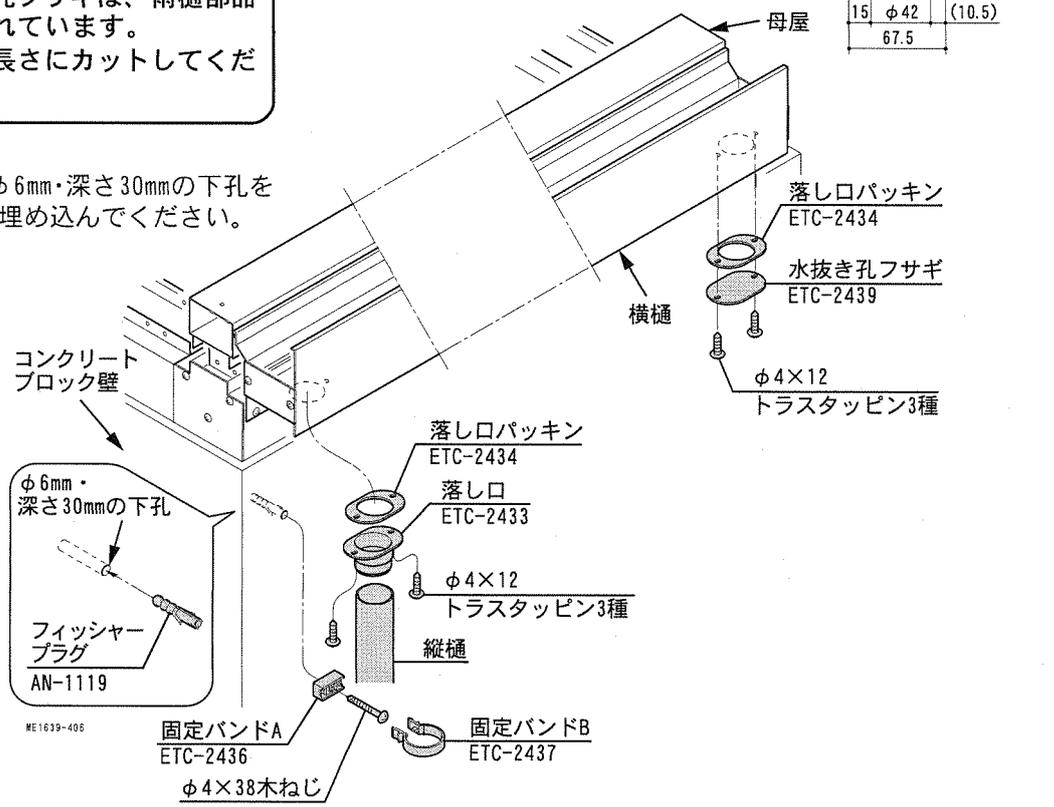
④反対側の水抜き孔をふさいでください。



- 落し口・水抜き孔フサギは、雨樋部品セットに梱包されています。
- 縦樋は、必要な長さにカットしてください。

⑤コンクリートブロック壁に $\phi 6\text{mm}$ ・深さ30mmの下孔をあけ、フィッシャープラグを埋め込んでください。

⑥縦樋を固定してください。



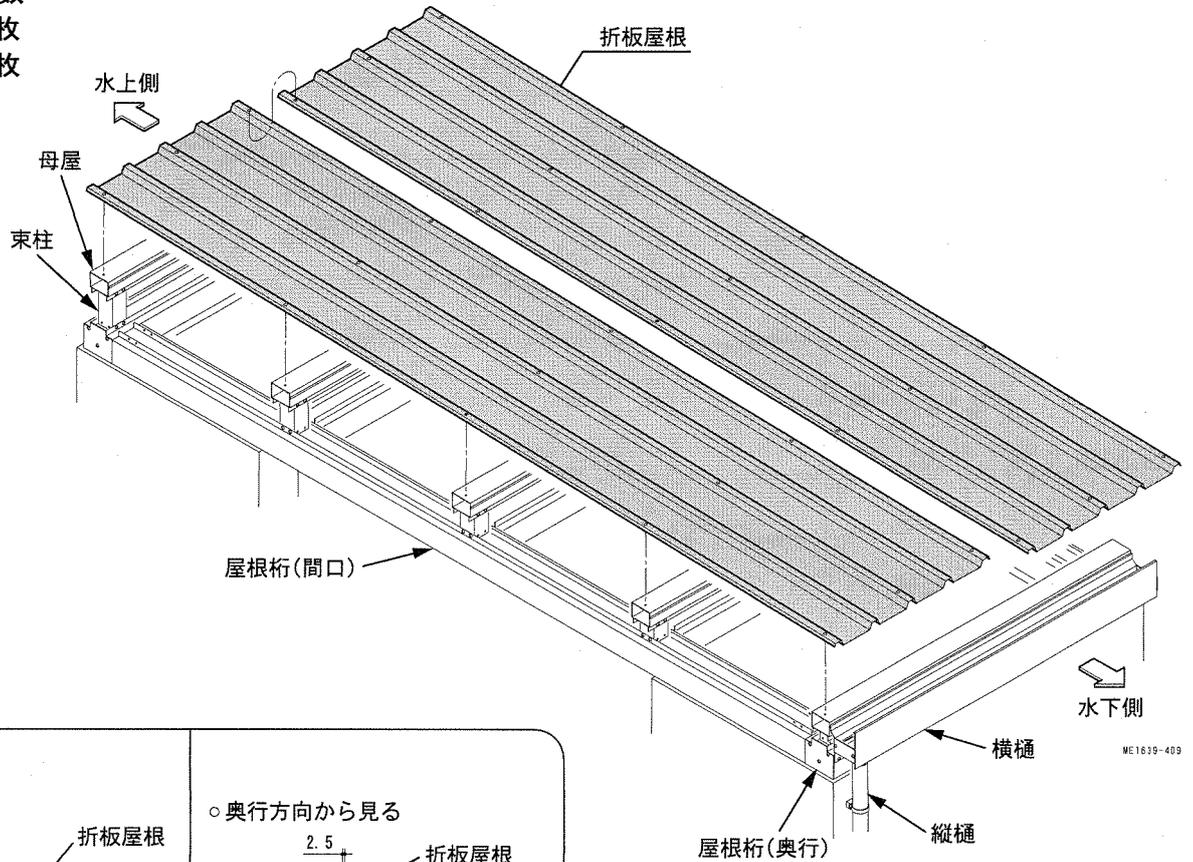
4-3 折板屋根・破風の取付け

①折板屋根を母屋に載せ、母屋端部の孔と折板屋根の孔を合わせて位置を確認してください。

※折板屋根枚数

D:12...2枚

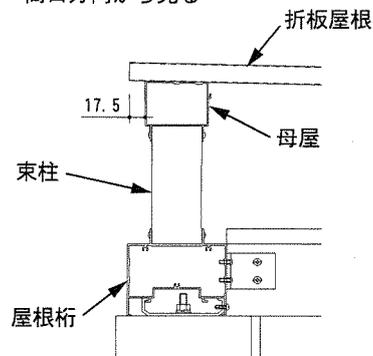
D:20...3枚



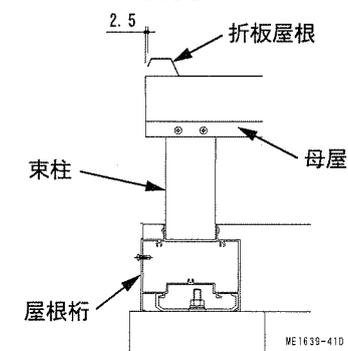
※本図はD:12の場合を示しています。

●屋根方向詳細

○間口方向から見る



○奥行方向から見る



折板屋根の取付け

- ②前後用破風を折板屋根の両端に載せ、前後用破風と折板屋根を母屋に取付けてください。

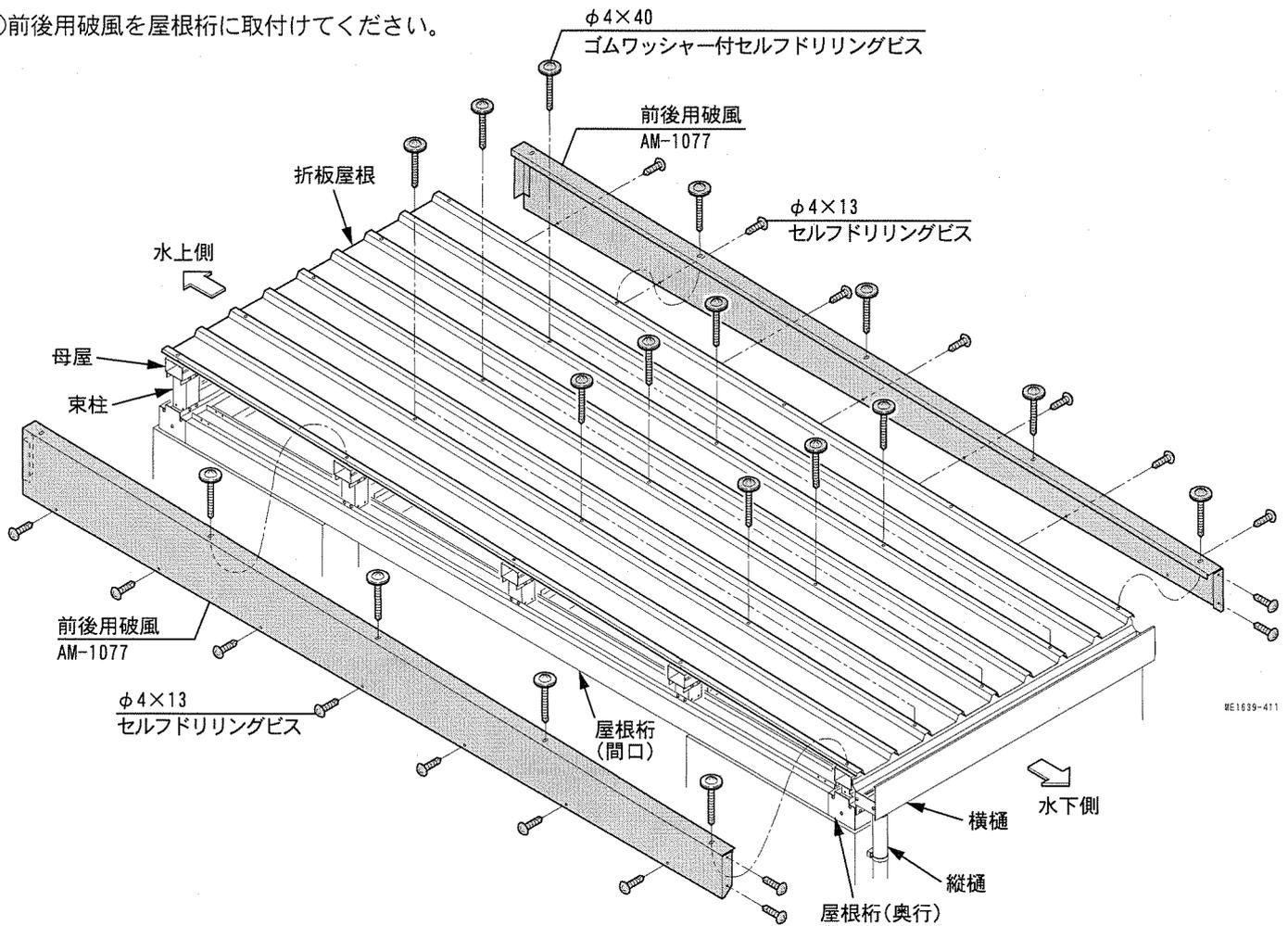


前後用破風の左右は、勾配方向に合わせてください。



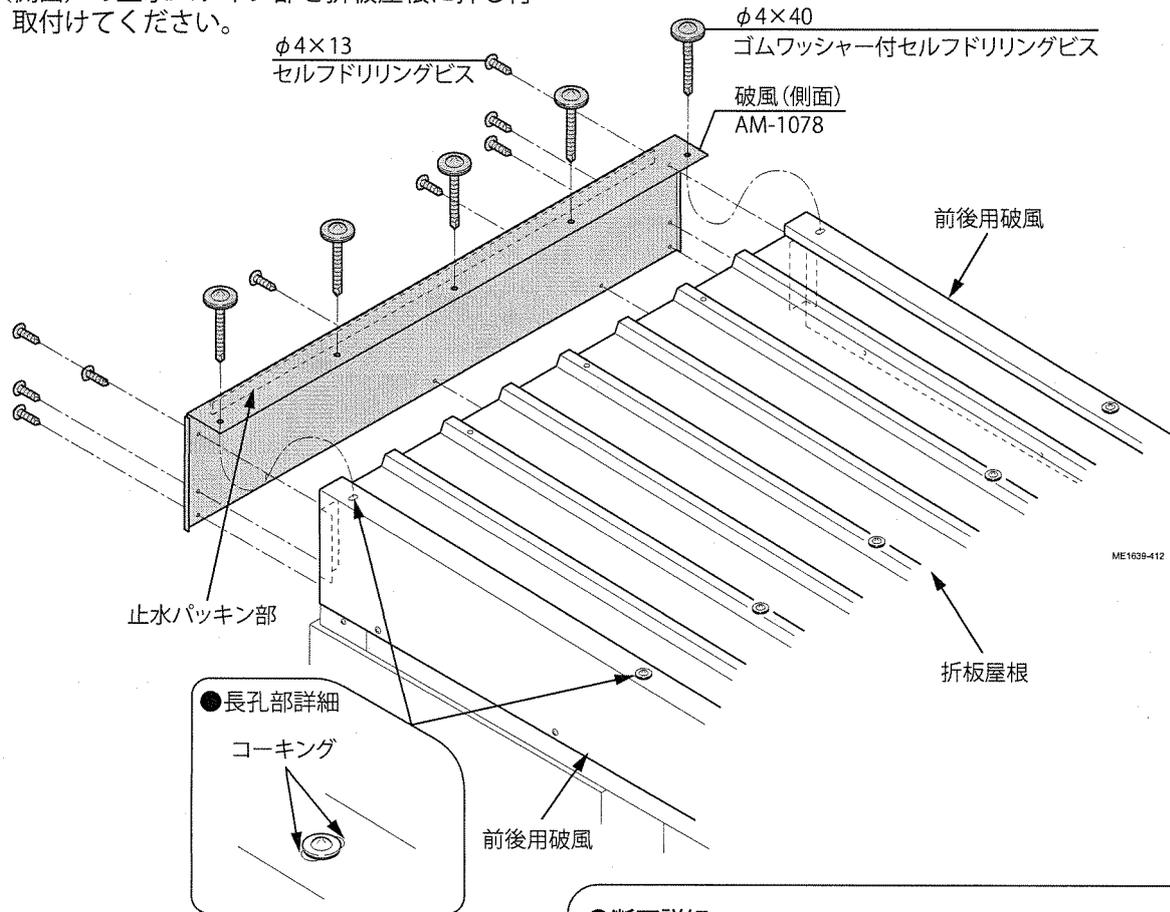
水上端部は、破風（側面）と共締めします。まだビスを取付けないでください。

- ③前後用破風を屋根桁に取付けてください。



※本図はD:12の場合を示しています。

④破風（側面）の止水パッキン部を折板屋根に押し付けて、取付けてください。



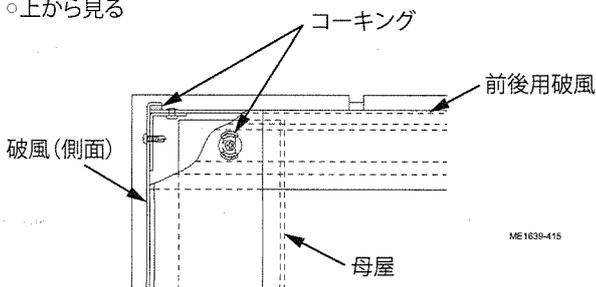
⑤前後用破風の長孔部および破風（側面）の角部に、コーキングを行ってください。



コーキングは十分に行ってください。

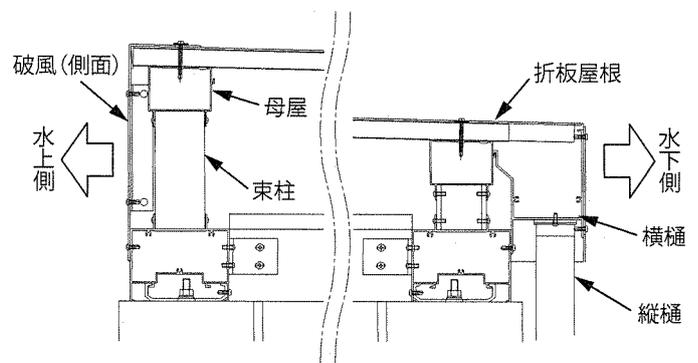
※不十分ですと、雨漏りの原因になります。

○上から見る

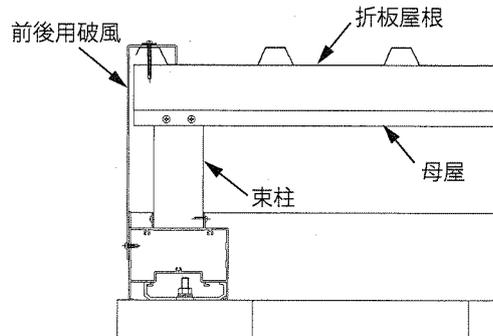


●断面詳細

○間口方向から見る



○奥行方向から見る



5-1 上吊用柱の埋め込み

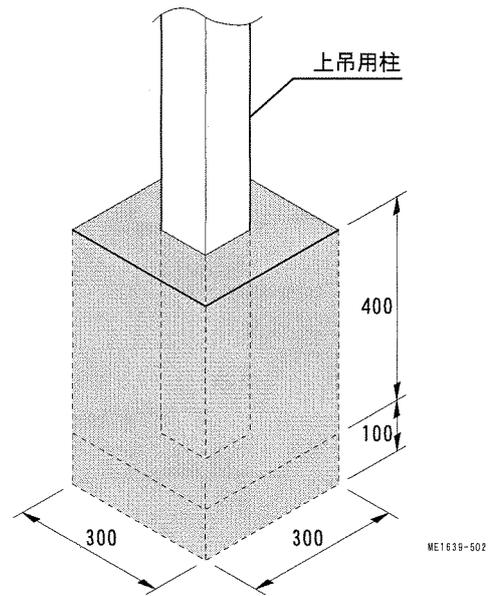
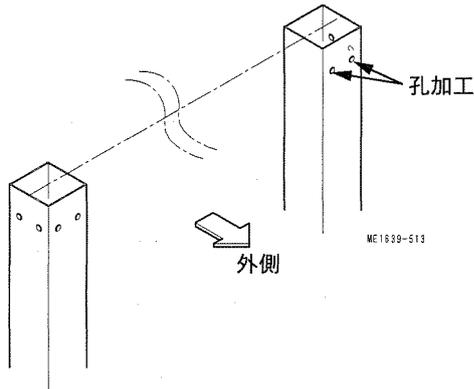
納まり図で柱の位置・埋め込み寸法を確認して、上吊用柱を設置してください。



FL がある場合は、その分を考慮してください。

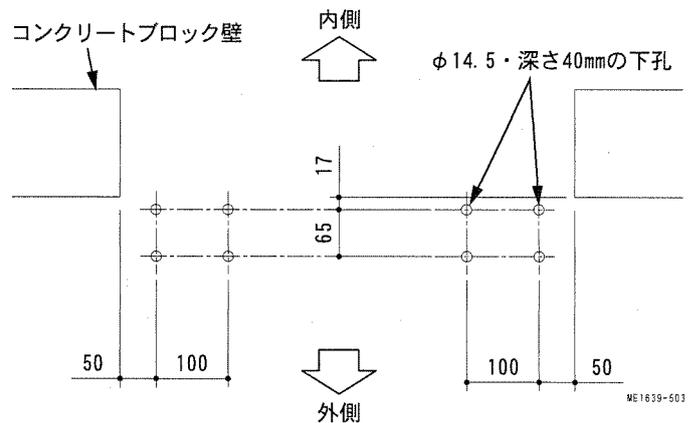


柱には左右があります。柱上部の孔加工が外になるように埋め込んでください。



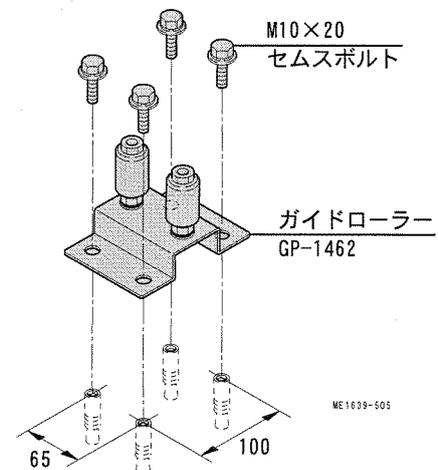
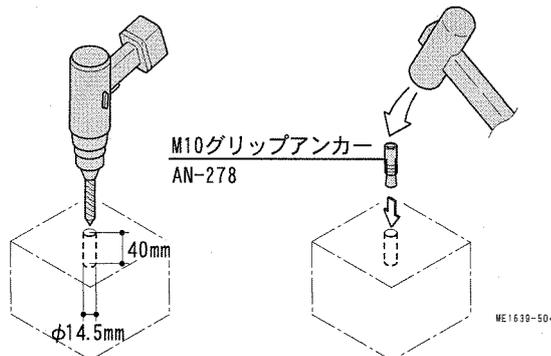
5-2 ガイドローラーの取付け

①ブロック開口部の GL または FL に、 $\phi 14.5\text{mm}$ ・深さ 40mm の下孔 8ヶ所をあけてください。



②グリップアンカーを打ち込んでください。

③ガイドローラーをグリップアンカーに取付けてください。



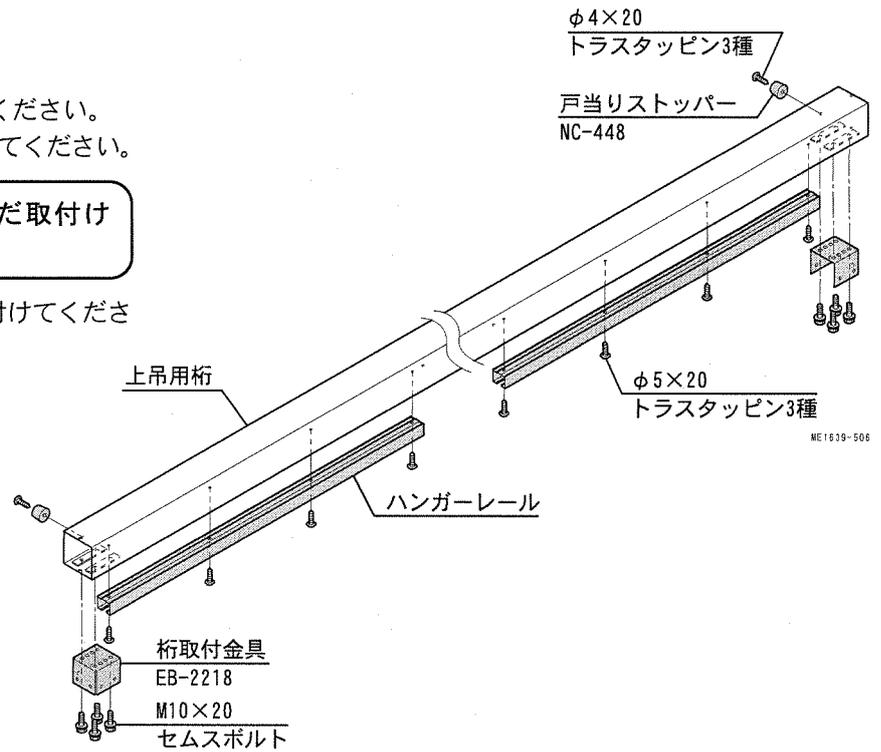
上吊引戸の取付け

5-3 上吊用桁の取付け

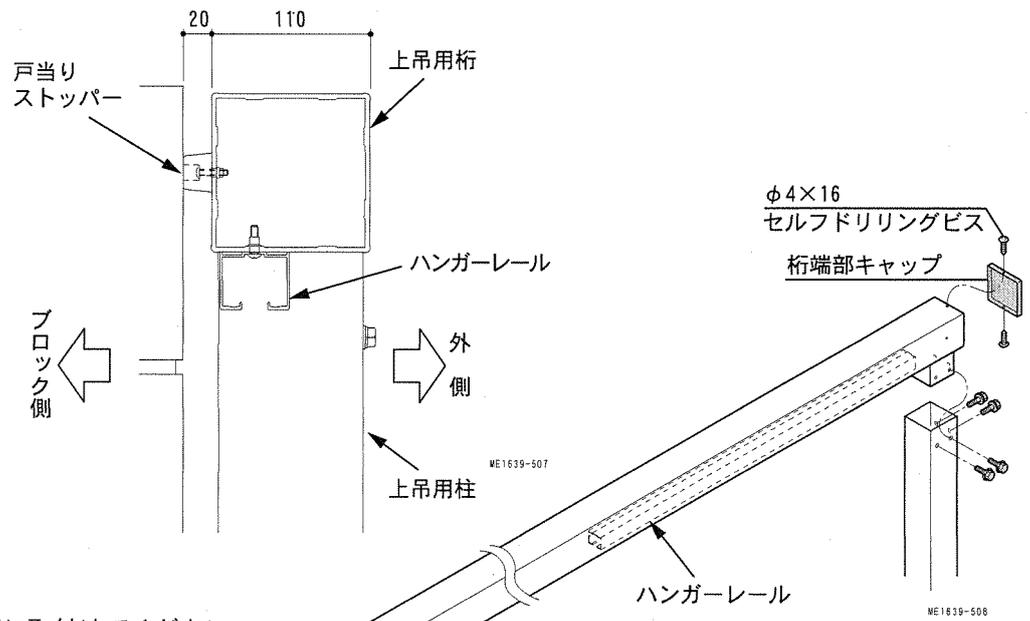
- ① 桁取付金具を上吊用桁の両端に取付けてください。
- ② ハンガーレールを上吊用桁の両端に取付けてください。

! 中間部ハンガーレールは、まだ取付けないでください。

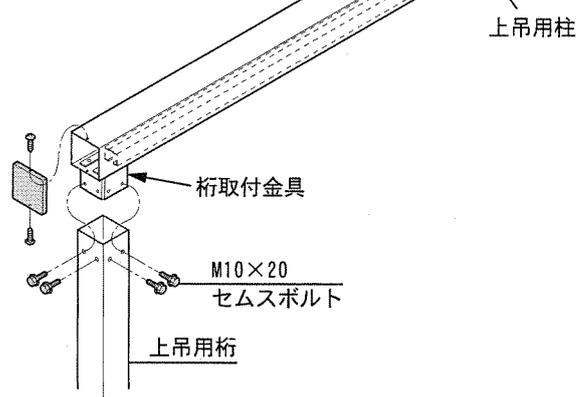
- ③ 戸当りストッパーを上吊用桁の両端に取付けてください。



- ④ 上吊用桁を上吊用柱に取付けてください。



- ⑤ 桁端部キャップを上吊用桁両端に取付けてください。



5-4 扉の取付け

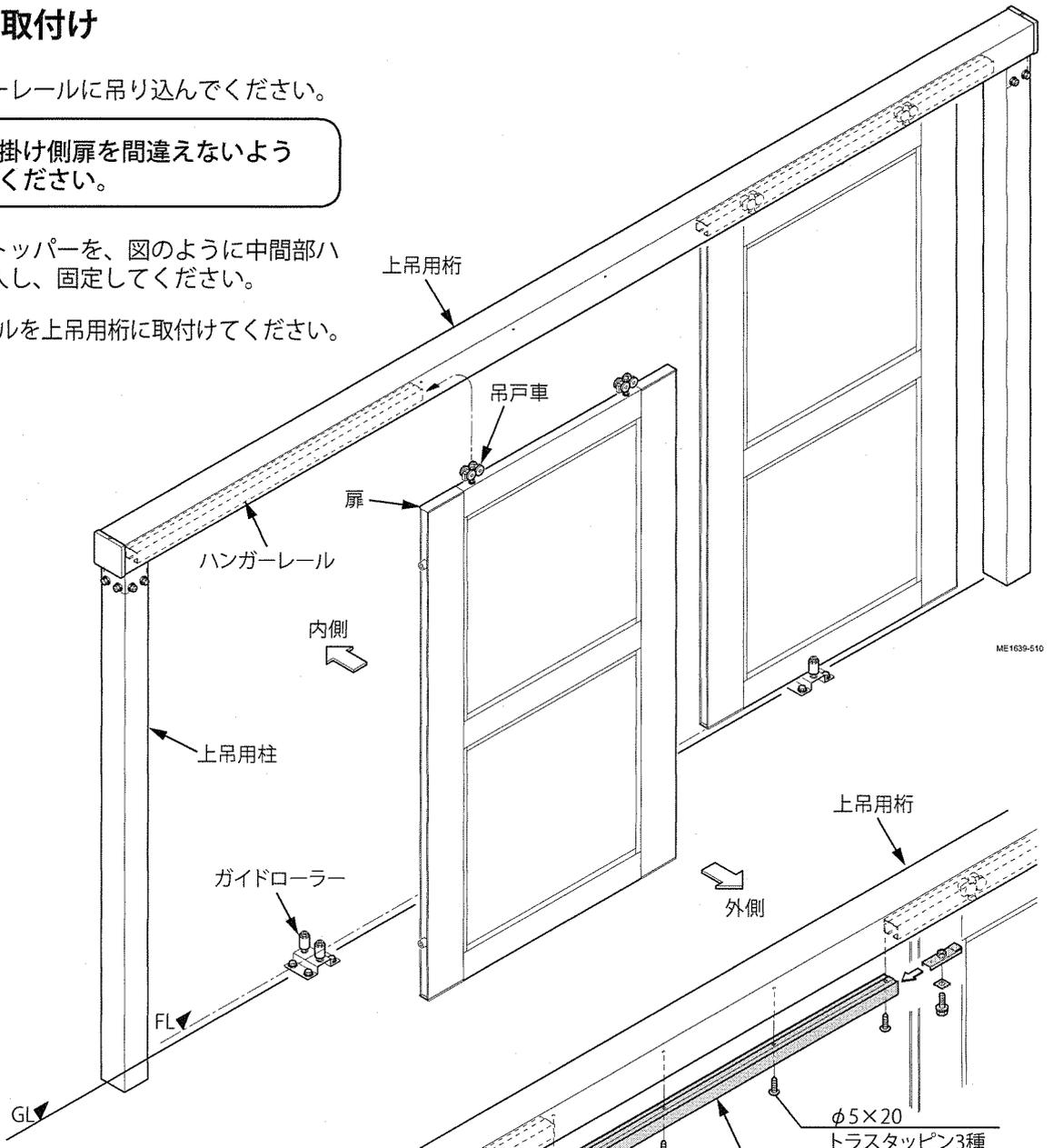
①上吊用扉をハンガーレールに吊り込んでください。



受け側扉と掛け側扉を間違えないように注意してください。

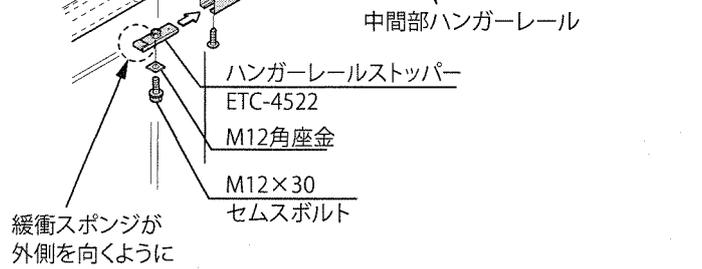
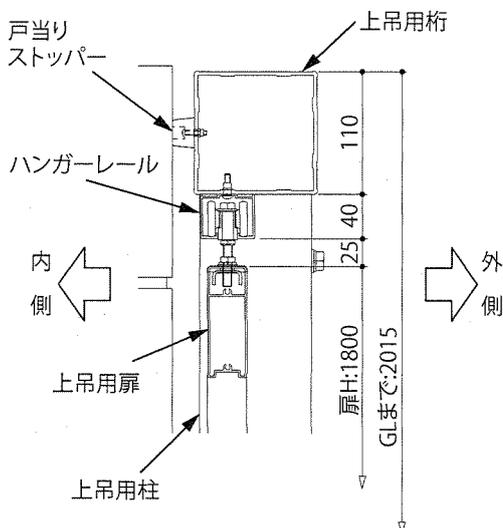
②ハンガーレールストッパーを、図のように中間部ハンガーレールに挿入し、固定してください。

③中間部ハンガーレールを上吊用桁に取付けてください。

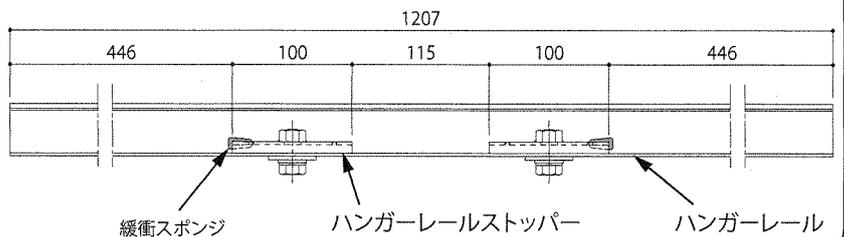


ME1639-010

●扉取付詳細

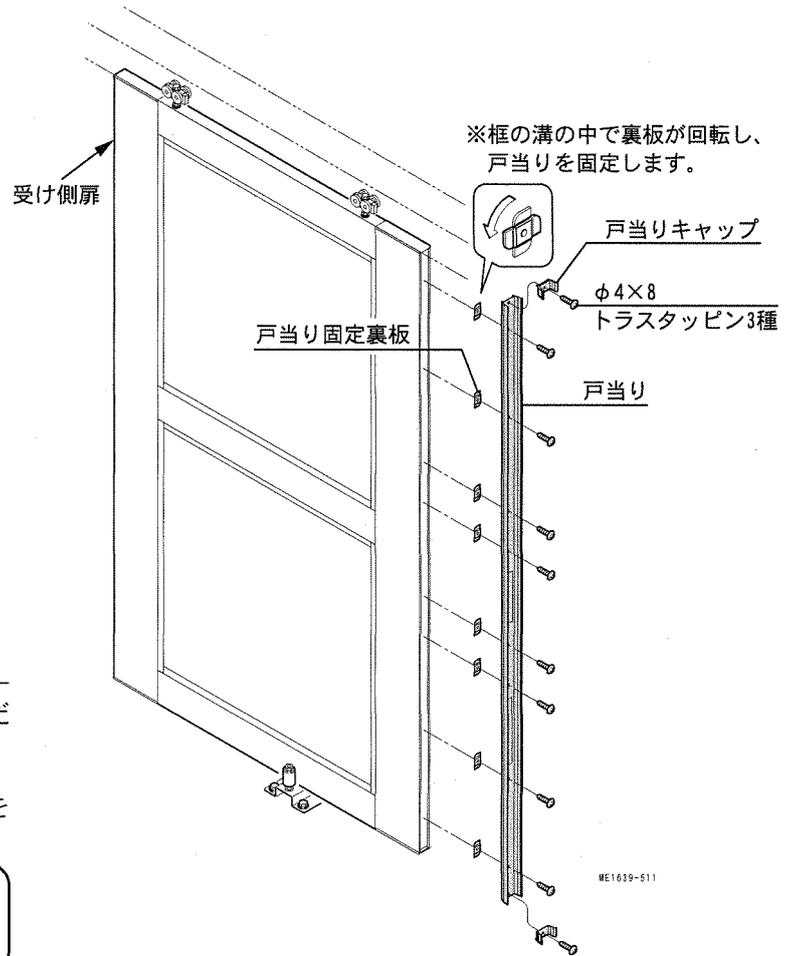


●ハンガーレールストッパー取付詳細



上吊引戸の取付け

④戸当りを受け側扉に取付けてください。



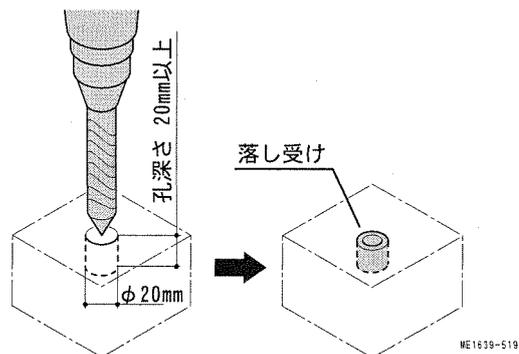
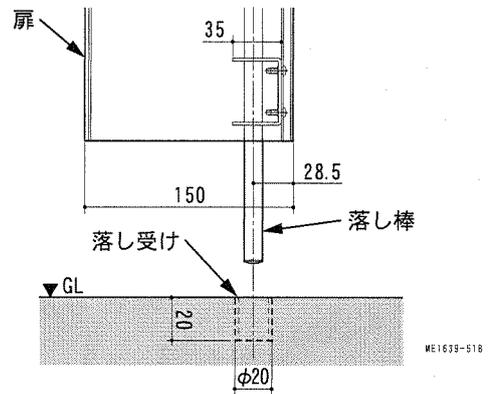
⑤錠セットに同梱されている組立施工マニュアル [ME-1662] を参照して、錠・ハンドルを扉に取付けてください。

⑥吊戸車・ガイドローラーを調整して、扉の位置調整を行ってください。



吊戸車の調整は「5-5. 吊戸車の調整」、ガイドローラーの調整は「5-6. ガイドローラーの調整」を参照してください。

⑦落とし棒の位置を確認して、落とし受けを埋め込んでください。

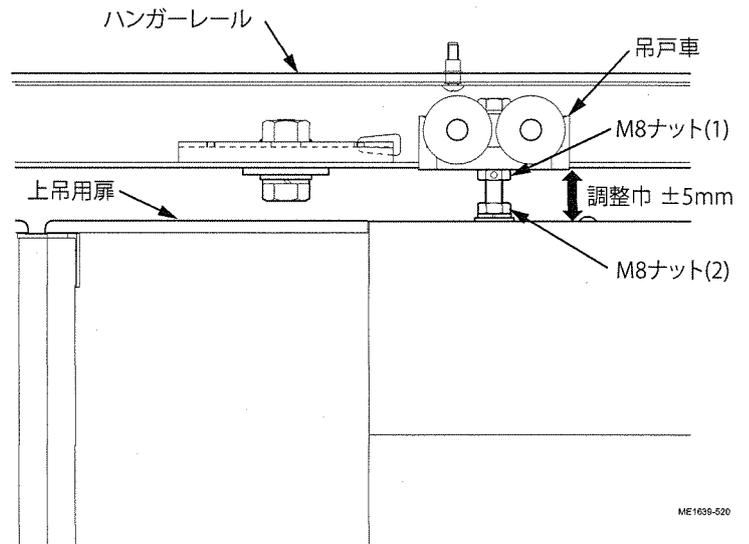


5-5 吊戸車の調整

- ①図を参照して、吊戸車下部のナット(2)を緩めてください。
- ②ナット(1)で扉の高さを調整してください。
- ③ナット(2)を締付け、扉を固定してください。



調整後、各ナットを確実に締付け、固定してください。



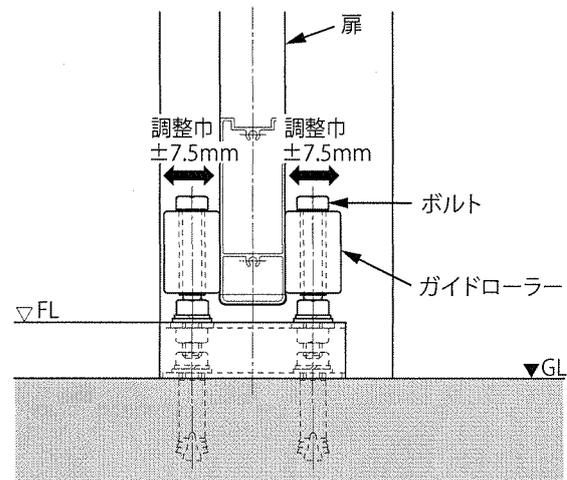
ME1638-520

5-6 ガイドローラーの調整

- ①ガイドローラー上部のボルトを緩め、扉とガイドローラーの位置を調整してください。



調整後、ボルトを確実に締付け、固定してください。



ME1639-521

5-7 ストライクの調整

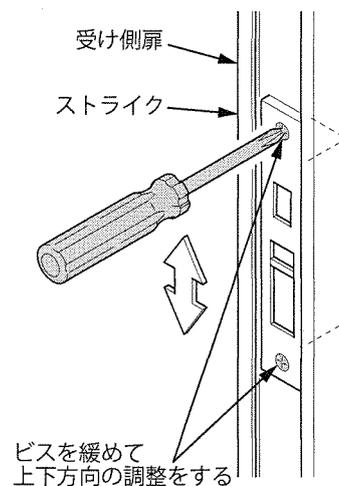
- ①受け側扉のストライクのビスを緩め、ストライクの上下方向を調節してください。



調整時、ビスを緩めすぎないように注意してください。(3回転程度)

※ビスを緩めすぎると、裏板が外れ、門扉内に落下する恐れがあります。

- ②調整後、ビスを確実に締付け、固定してください。



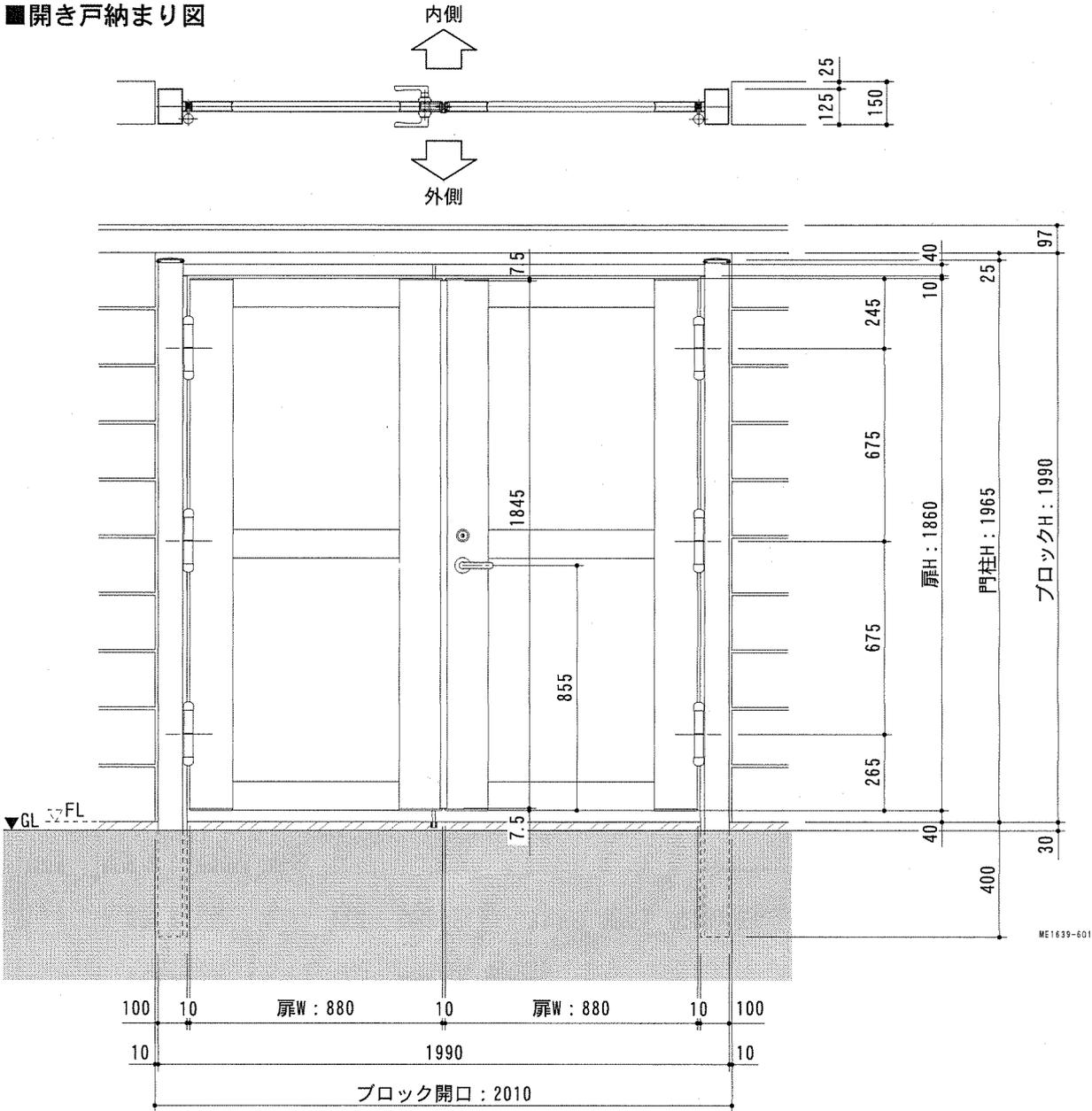
ME1636-522-1

6

開き戸の取付け

納まり図と開き戸セットに同梱されている組立施工マニュアル[ME-1516]を参照して、扉の設置を行ってください。

■開き戸納まり図



施工工事店様、販売店様へのお願い

●このマニュアルは、施工完了後施主様にお渡しください。

| | | | |
|-----------|---|---------|---|
| 施 工 完 了 日 | 年 | 月 | 日 |
| 施 工 工 事 店 | | TEL () | - |
| 販 売 店 | | TEL () | - |